

## 脳神経内科学 専門研修

### 1. 附属病院における担当診療科

- (1) 神経内科
- (2) 老年科

### 2. 受け入れの身分

- (1) 医員
- (2) 大学院生；入学時期は各自相談の上決める.

鳥取大学大学院医学系研究科

医学専攻博士課程

①一般選抜

②社会人特別選抜（本院医員または一般病院に勤務しながら入学可能）

### 3. 初期臨床研修修了後の研修予定

（下記は典型的な研修予定であり，個々の希望により調整する.）

年限	研修項目	研修場所・内容
3年目	前期は鳥取大学医学部附属病院、後期は関連病院（総合病院神経内科）	
前期	臨床神経	鳥取大学医学部附属病院神経内科にて担当医 （他の内科専門診療科ローテーション研修も可能*）
後期	臨床神経	関連病院（総合病院）神経内科にて担当医 神経救急を主体に研修
4年目	前期は3年目後期に引き続いて関連病院 後期は鳥取大学医学部附属病院 （希望により、前期に引き続いて関連病院での研修を行なうことも可能である）	
前期	臨床神経	関連病院（総合病院神経内科）にて担当医 神経救急を主体に研修
後期		鳥取大学医学部附属病院にて、下記から選択ローテーション. （ローテーション先や期間は、希望により調節する.） 選択ローテーションではなく、神経内科にて臨床神経研修をしながら、カンファレンスなどによる他部門研修

も、希望により可能である。

選択科目

神経内科（臨床神経・神経救急）以外に、脳神経小児科，精神神経科，放射線科（神経放射線），脳神経外科，神経病理，リハビリテーション部，など

5年目

前期		4年目後期に引き続いて選択ローテートあるいは神経内科研修（6ヶ月）
後期	臨床神経	鳥取大学医学部附属病院神経内科にて指導医（6ヶ月）

6年目

神経内科臨床、および神経内科研究（12ヶ月）

大学院\*\*にて臨床と研究

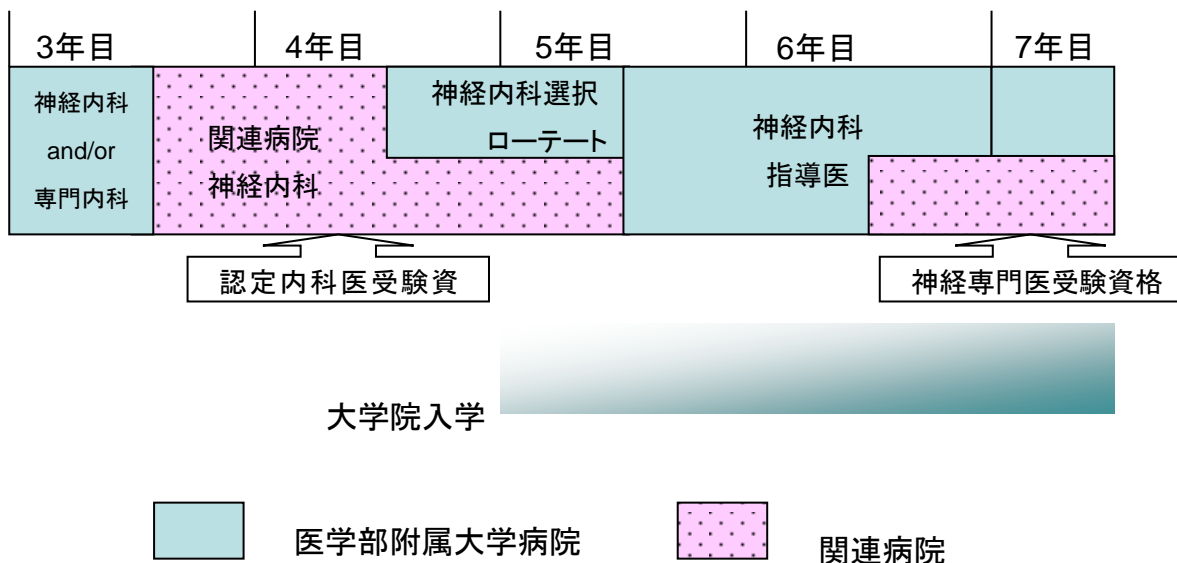
前・後期	臨床神経	鳥取大学医学部附属病院で指導医、あるいは、関連病院にて臨床医
------	------	--------------------------------

7年目

神経内科スタッフ，指導医，大学院など各自の希望に沿った形で臨床・研究に研鑽を積む

\*; 日本内科学会認定内科医取得の為に必要な内科分野のローテート研修を選択することも可能。あらかじめ希望をとり，各診療科と調整する。

\*\* ; 大学院入学の時期については、本人のご希望により相談の上決定する。



#### 4. 脳神経内科において取得可能な専門医

- (1) 日本内科学会認定内科医
- (2) 日本内科学会認定内科専門医
- (3) 日本神経学会神経内科専門医
- (4) 日本脳卒中学会脳卒中専門医
- (5) 日本頭痛学会頭痛専門医
- (6) 日本老年病学会老年病専門医
- (7) 日本認知症学会専門医
- (8) 日本老年精神学会専門医
- (9) 日本リハビリテーション医学会認定臨床医
- (10) 日本医師会認定産業医

#### 5. 各種認定医、専門医受験資格

認定医、専門医	認定内科医取得の 要否	受験に必要な研修 期間	受験に必要な学会会員 歴
認定内科医		初期臨床研修2年＋ 教育病院（内科系大 学院を含む）1年以 上、または教育関連 病院1年以上、計3 年以上	卒後3年目に入会すれ ばよい
認定内科専門医	要	認定内科医取得後、 教育病院（内科系大 学院を含む）1年以 上＋教育関連病院2 年以上、計3年以上 （注）3年以上のう ち教育病院での研 修1年以上は必要	
神経内科専門医	要	初期研修をふくむ 臨床研修を6年以上 神経学会の認定し た教育施設で3年以 上など	3年以上の会員歴
脳卒中専門医	（要；実質必要）	日本脳卒中学会認 定研修教育病院で、 3年以上の研修歴が あり、現在脳卒中診 療に従事している	3年以上の会員歴 日本神経学会神経内 科専門医，日本内科学 会内科専門医，日本老 年医学会老年病専門 医な

		こと	どのいずれかを有していること
頭痛専門医	(要；実質必要)	認定内科医研修の過程を修了後、認定教育施設で3年以上	3年以上の会員歴 いずれかの頭痛関連学会の認定医, 専門医, 指導医を有していること
老年病専門医	要	認定内科医取得後、認定施設で3年以上	申請時に継続 3 年以上の会員歴
認知症専門医	要	指導医のいる施設で3年以上	認知症関連学会の専門医
認定産業医	現時点では必ずしも要しない		

なお、受験資格の中には、経験必要症例が規定されているが、詳細は省略する。

## 6. 診療分野ならびに特徴ある診療内容

### A. 診療分野

神経内科，老年科

神経変性疾患（パーキンソン病関連疾患，アルツハイマー病，脊髄小脳変性症，筋萎縮性側索硬化症），脳血管障害（脳梗塞，脳出血），神経免疫疾患（多発性硬化症，ギラン・バレー症候群，重症筋無力症），脊髄障害，末梢神経障害，筋疾患，頭痛（片頭痛，緊張型頭痛，群発頭痛）などの神経疾患．認知症，軽度認知障害，脳動脈硬化症などの老年疾患．

### B. 特徴ある診療内容

#### 1) 診断から治療・予防まで

##### (1) 問診及び神経学的診察技術の習得

臨床医として必須の技術をトレーニングし習得することにより，自己流にならず体系だった所見をとることができるようになる．

##### (2) 診断や鑑別診断のプロセスの習得

回診やカンファレンスを通して習得できる．

##### (3) 治療・予防

既存の治療法にだけとられるのではなく，患者さんの問題点を明らかにし，新たな治療の選択肢を広げていくことができる．

さらに，自分たちで評価法を検討したり，治療法を改善していき，その生かした経験から EBM を作っていくことができる．

#### 2) 特徴ある検査、治療手技を修得できる

##### (1) 神経救急疾患への対応

##### (2) 髄液穿刺検査

- (3) 神経画像診断；頭部 CT, 頭部 MR, 脊髄 MR
- (4) 神経機能画像診断；脳血流シンチグラフィー, MIBG 心筋シンチグラフィー
- (5) 血管画像診断；頸部超音波検査, 頭頸部 3D-CTA, MRA, 脳血管撮影
- (6) 自律神経機能診断；起立負荷試験, 発汗試験
- (7) 神経内分泌機能検査；各種負荷試験
- (8) 神経筋生理機能検査；脳波, 筋電図, 誘発筋電図
- (9) 磁気刺激検査
- (10) 睡眠機能検査

## 7. 専門医研修施設

- (1) 鳥取大学医学部附属病院
- (2) 脳神経内科教育関連病院

上記(1)、(2)において、内科学全般にわたる研修ならびにそれぞれ神経内科専門医研修を実施する

## 8. 脳神経内科教育関連病院 (\*日本内科学会認定教育病院、\*\*教育関連病院)

- 国立病院機構鳥取医療センター
- 鳥取県立中央病院\*
- 鳥取市立病院\*
- 鳥取赤十字病院\*\*
- 渡辺病院
- 鳥取県立厚生病院
- 野島病院
- 国立病院機構米子医療センター\*\*
- 山陰労災病院\*\*
- 博愛病院
- 済生会境港総合病院\*\*
- 安来市立病院
- 国立病院機構松江病院
- 松江記念病院
- 松江市立病院\*\*
- 松江生協病院\*
- 松江赤十字病院\*
- 姫路中央病院

## 9. 連絡先

### (1) 鳥取大学医学部附属病院脳神経内科

統括医長 安井 建一

[ikyoku@neurol.med.tottori-u.ac.jp](mailto:ikyoku@neurol.med.tottori-u.ac.jp)

科長・教授 中島 健二

[kenaka@med.tottori-u.ac.jp](mailto:kenaka@med.tottori-u.ac.jp)

〒683-8504 米子市西町 36-1

TEL 0859-38-6757

FAX 0859-38-6759

### (2) 鳥取大学医学部附属病院卒後臨床研修センター

〒683-8504 米子市西町 36-1

TEL 0859-38-7025

FAX 0859-38-6974

e-mail : [sotsugo@med.tottori-u.ac.jp](mailto:sotsugo@med.tottori-u.ac.jp)